

放流海域に回帰したサワラ人工1歳魚の性比と成熟状況

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 山崎, 英樹, 藤本, 宏
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014573

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



放流海域に回帰したサワラ人工1歳魚の性比と成熟状況

山崎英樹・藤本 宏

放流後のサワラの繁殖特性を検討するため、放流海域である播磨灘に回帰したサワラ1歳魚の性比と成熟状況を調査した。2003、2004年の2ヵ年の調査の結果、水揚げ盛期の放流魚の性比は天然魚同様に1:1を示した。成熟状況は生殖腺重量比で検討したが、天然魚と放流魚との間には差が無く、また、いずれの年も50%以上の個体がすでに成熟過程に入っていたと推察された。瀬戸内海東部海域に放流されたサワラ人工種苗は天然魚と変わりなく成長、成熟し、1歳魚で一部の個体は再生産に関わっている可能性がある。

栽培技研, 34(1), 7-12, 2006